

キャラクター名
赤城 黒桜

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	死	衝動	嫌悪	初期侵食率	33	%
出自	義理の両親	経験	記憶喪失	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	1	1	0			2	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	5	0	0			5	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き剣	白兵	5r	0	8		消費したHP分攻撃力にボーナス。
無限の螺旋						クイックダッシュ+螺旋の悪魔
最適の影を追う						コンセントレイト3+無形の影+コンバットシステム3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タメ	消費
戦闘用人格	P	N		
アルフレッド・J・コードウエル	P 遺志	N 憎悪		
義理の親	P 好意	N 疎外感		
烏羽 空木	P 尊敬	N 不安		
ドゴール	P 好意	N 不信感		
春日	P 同情	N 敵愾心		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
クイックダッシュ	1	4	セットアップ	至近	自身	自動	1S1回	
効果: 自身を戦闘移動させる。								
コンセントレイト	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を-LVする。								
影の武器: 赫き剣	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 使用時に[Lv*2]以下のHPを消費する。それはこのエフェクトで作成した武器の攻撃力ボーナスとなる。								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	-	1R1回	
効果: あらゆる判定を組み合わせられる。その判定を【精神】で行う。								
螺旋の悪魔	2	3	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: BS暴走を受ける。そのラウンドの間、ウロボロスのエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を[Lv*3]する。								
コンバットシステム:白兵	3	3	Xジャーリアクション	-	-	対決	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを[Lv+1]個する。								
エクスマキナ	1	4	Xジャーリアクション	-	-	対決	リミット	
効果: 《コンバットシステム》と組み合わせる。このエフェクトを組み合わせた判定の達成値を+10する。1シナリオにLv回まで使用できる。								
傍らの影法師	★	-	メジャー	至近	自身	対抗	-	
効果: 自分の影を立体化させる。影を隠蔽する場合は〈RC〉で相手の〈知覚〉と対抗。								
道化の出し物	★	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: エフェクトの事象を外見だけ他のエフェクトに偽装する。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

・経歴
物事付いた時から義理の両親に育てられ、普通に生きてきた男。
幼い頃のことは覚えていないが、そういうものだろうと思って忘れた。
もちろん、幼い頃にはそれ相応の事柄があって、結果として今の環境になってしまった。
ただし、それを覚えているのは別の人格だけである。

・Dロイス
戦闘用人格。最低限のフレーバーとしてはもう一つの人格がある。だけ。
データ面では侵蝕率が100%以上ならあらゆる判定が+4D。バックトラックのダイスが-1D。
今回は裏社会を理解するための取っ掛かり、面倒な非日常への理解、設定上の深みを持たせるための調味料として、キャラ設定の半分を担っている。

・性格
猪突猛進。行動をノリで決めるタイプ。困っている人は見過ごせず、危機にも恐れず首を突っ込んでしまう。
それらはすべて自身と世界を繋ぎ止める存在が居ないことの裏返しである。
要は思春期を良い方向でこじらせた馬鹿、ということだ。
戦闘用人格ではさらに悪化しており、自身を憎悪で満たし、活力とする。
本来の繋がりであった両親が死んだ原因たる、反逆の聖人《イスカリオテ》に復讐するまで、その憎悪は止まることはない。

ハンドアウト
PC1
カヴァー: 学生の類
ワークス: 任意